

UPS 設定ユーティリティ 即

取扱説明書

For Ver.4.0.3

Rev 1.02

r		ال ار	٦
	H	乄	

1. UPS 設定ユーティリティとは?	2
2. UPS 設定ユーティリティの動作環境	3
3. ソフトウェア使用許諾書について	4
4. UPS とパソコンの接続方法	5
5. UPS 設定ユーティリティの使用方法	6
5-1.アプリケーションを起動し UPS との通信を確立する	6
5-2. UPS の設定を変更する	7
5-3. 設定内容のバックアップを行う	9
5-4. UPS 設定バックアップファイルより UPS の設定を復元する	9
5-5. UPS の設定をデフォルト(工場出荷時)状態に戻す	11
5-6. アプリケーションを終了する	12
6. 各種設定の詳細説明	13
6-1. UPS 基本設定	13
6-2. UPS 起動設定	16
6-3. UPS 接点信号設定	19
6-4. 出力コンセント制御設定	21
6-5. 入出力設定	23
6-6. バッテリ設定	25
6-7. LCD 制御設定・その他	27
6-8. コマンド送受信	27
7. 設定項目の機種別対応表	28
7-1. 常時インバータ給電方式(200V/正弦波)	28
7-2. 常時インバータ給電方式(100V/正弦波)	29
7-3. ラインインタラクティブ方式(100V/正弦波)	30
7-4. 常時商用給電方式(100V/正弦波)	31
7-5. 常時商用給電方式(100V/矩形波)	32
8. アンインストールおよび動作の確認	33

RevisiON History:

Rev.	Date	DescriptiON	
1.00	2016/2/8	1 st Release	Y. 0
1.01	2017/8/7	対応 UPS に BU150R を追加	Y. H
1.02	2018/2/5	対応 UPS に BW-T シリーズを追加	Y. H



For Ver.4.0.3

Rev 1.02

1. UPS 設定ユーティリティとは?

UPS 設定ユーティリティは、UPS の各種設定を行うためのソフトウェアです。本ソフトウェアを使用することにより、UPSの設定変更を簡単に行うことができます。

例:停電時、シャットダウンソフトを使用せずに UPS を停止させる。 →「最大バックアップ時間設定」をする

また、UPSの設定内容をファイルにバックアップしたり、他の UPS に設定内容を転送したりすることもできます。

【設定可能項目】

- ① [UPS 基本設定]タブ ブザー設定、電圧感度モード設定、コールドスタート設定、最大バックアップ時間設定
- ② [UPS 起動設定]タブ 起動時の自己診断テスト、4週間毎の自己診断テスト、起動遅延時間設定、 起動バッテリ充電容量設定、DC 起動、自動再起動、自動再起動モード(BS 信号)
- ③ [UPS 接点信号設定]タブ BS 信号遅延時間設定、BU 信号遅延時間設定、BS 信号許可モード、BS 信号受付時間、 リモート信号動作、接点信号論理、可変出力信号線
- ④ [出力コンセント制御設定]タブ 出力開始遅延時間設定、出力停止遅延時間設定
- ⑤ [入出力設定]タブ 出力電圧設定、周波数同期モード、ECOモード、入力プラグ、切替感度、最大瞬停時間 電源スイッチ機能
- ⑥ [バッテリ設定]タブ
 バッテリ寿命カウンタ、UPS 寿命カウンタ、バッテリロー検出レベル、UPS 設置日
 バッテリ交換日
- ⑦ [LCD 制御設定・その他]タブ
 表示言語、LCD 自動オフ、メモ、内蔵時計、ログ件数

【ユーティリティ機能】

- ① コマンドを送受信する機能
- ② 設定をバックアップファイルに保存する機能
- ③ バックアップファイルから設定を戻す機能
- ④ UPS の設定内容を読み出す機能
- ⑤ UPSの設定をデフォルト値に戻す機能



UPS 設定ユーティリティ 印

For Ver.4.0.3

取扱説明書

Rev 1.02

2. UPS 設定ユーティリティの動作環境

対応コンピュータ	DOS/V 機
	(Apple 製 Macintosh OS およびその互換機ではご使用になれません)
対応 0S	Windows 10 / 8.1 / 8 / 7 / Vista / XP
	Windows Server 2012R2 / 2012
	Windows Server 2008R2 / 2008
	Windows Server 2003R2 / 2003
インタフェース	RS232C
	USB
	※RS232C 通信設定:2400bps/8bit/1bit/nON
対象 UPS	[BU-2RWL シリーズ] BU5002RWL, BU3002RWL, BU2002RWL
	[BU-2RW シリーズ] BU1002RW
	[BU-2SW シリーズ] BU3002SW, BU1002SW
	[BU-RE シリーズ] BU100RE, BU60RE
	[BU-RW シリーズ] BU300RW, BU200RW, BU100RW, BU75RW
	[BU-RS シリーズ] BU100RS
	[BU-R シリーズ] BU150R
	[BU-SW シリーズ] BU150SW, BU100SW, BU75SW, BU50SW
	[BA シリーズ] BA100R, BA100T, BA75T
	[BN-R シリーズ] BN300R, BN150R, BN75R
	[BN-XR シリーズ] BN150XR
	[BN-T シリーズ] BN300T, BN220T, BN150T, BN100T, BN75T, BN50T
	[BN-S シリーズ] BN300S, BN220S, BN100S, BN75S, BN50S
	[BW-T シリーズ] BW40T, BW55T, BW100T, BW120T
	[BY シリーズ] BY75SW, BY50FW, BY120S, BY80S, BY50S, BY35S
	[BX シリーズ] BX75SW, BX50FW, BX50F, BX35F
	[BZ シリーズ] BZ50LT2, BZ35LT2

OMRON

UPS 設定ユーティリティ 取扱説明書

For Ver.4.0.3

Rev 1.02

3. ソフトウェア使用許諾書について

本ソフトウェアをコンピュータヘインストールされた場合は、次のソフトウェア使用許諾書(以下本契約) 内容にご同意いただけたものといたします。ご同意いただけない場合には、本ソフトウェアをパソコンに インストールしないでください。

[ソフトウェア使用許諾契約書]

オムロン株式会社(以下オムロンといいます)がお客様にソフトウェア商品(以下ソフトウェア)を使用 許諾する条件を定めたものです。必ずソフトウェアをご使用になる前に、以下の事項に注意してお読みく ださい。

- 本契約にいう「ソフトウェア」とは、本パッケージに含まれるコンピュータ・プログラムおよびそれ に関連する技術資料などのすべてを含みます。 ソフトウェアにかかわる著作権その他の知的財産権はオムロンまたはオムロンに使用許諾をしている 第三者に帰属し、本契約によりお客様に移転することはありません。 お客様がそれらの権利を侵害した場合、前述のオムロンまたはオムロンに使用許諾をしている第三者 に対する責任は、お客様が負うものとします。
- 2. オムロンは、お客様が無停電電源装置(UPS)を制御する目的のみでソフトウェアを使用する非独占 権利を承諾します。
- 3. ダウンロードしたファイルの再配布は、対象製品の購入者および使用者に対してのみ可能とします。
- お客様はソフトウェアの改変ならびに逆コンパイル、逆アセンブリ、およびリバースエンジニアリン グその他のそれに類する行為を行うことはできません。
- 5. オムロンは、このダウンロードとソフトウェアの欠陥により発生した、お客様の直接的、間接的ある いは波及効果よる損害に対しては一切の責任を負わないものとします。
- 6. ソフトウェアの改変ならびに逆コンパイル、逆アセンブリ、およびリバースエンジニアリングその他のそれに類する行為により、特許権(実用新案権に基づく権利も含む。以下同じ)または著作権を侵害するものとしてオムロンに使用を許諾している第三者または当該第三者以外からお客様が請求された場合にはオムロンは責任を負いません。
- お客様が本契約に違反した場合、オムロンはお客様に通知することによりソフトウェアの使用許諾を 終了させることができます。その場合お客様はソフトウェアおよびそのすべての複製物をオムロンに 返却しなければなりません。
- 8. 他のネットワークへの転載、ダウンロードしたファイルおよび作成したファイルの改変、雑誌・市販 製品へ許可なく添付することを禁止します。
- 9. ソフトウェアは、予告せずに改良、変更することがあります。



Rev 1.02

4. UPS とパソコンの接続方法

「UPS 設定ユーティリティ」を利用するには、パソコンと UPS を下記いずれかの方法にて接続します。



注意

「UPS 設定ユーティリティ」は、自動シャットダウンソフト(Simple Shutdown Software、PowerAct Pro、 PowerAttendant Lite 等)が動作している環境では、UPS と通信することができません。

自動シャットダウンソフトがインストールされているパソコンでは、「UPS 設定ユーティリティ」を起動す る前に、以下の手順で自動シャットダウンソフトのエージェントを停止し、UPS を開放してください。

また、「UPS 設定ユーティリティ」終了後は、必ず、停止したエージェントを起動してください。

■PowerActPro MasterAgent/Simple Shutdown Softwareの場合

①タスクトレイの常駐アイコンとを右クリックし、[エージェント停止]を選択します。

→常駐アイコンが送になったら、エージェントは停止しています。

②タスクトレイの常駐アイコンとを右クリックし、[エージェント起動]を選択します。

→ 常駐アイコンが とになったら、エージェントは起動しています。

■PowerAttendant Lite の場合

①タスクトレイの常駐アイコン しを右クリックし、[エージェント停止]を選択します。

→常駐アイコンが^図になったら、エージェントは停止しています。

②タスクトレイの常駐アイコンXXを右クリックし、[エージェント起動]を選択します。

→ 常駐アイコンが **し**になったら、エージェントは起動しています。



UPS 設定ユーティリティ B

For Ver.4.0.3

取扱説明書

Rev 1.02

5. UPS 設定ユーティリティの使用方法

5-1. アプリケーションを起動し UPS との通信を確立する

- アプリケーションの起動 「UPSSettingTool.exe」をクリックしてください。UPS 設定ユーティリティが起動します。 (インストール作業は不要です。UPSSettingTool.exe を実行するのみで使用てきます。)
- ② UPS との通信を確立させる

「UPS 自動接続」をクリックするとソフトは自動的にパソコンに接続されている UPS を探しにいき通信できる状態にします。なお、ソフトが UPS を見つけるのには数秒~数十秒かかります。 通信が確立したら、「通信ポート」「UPS 型式」欄に情報が正しく表示されます。もし「接続 UPS が存

通信が確立したら、「通信ボート」「UPS 型式」欄に情報が正しく表示されます。もし「接続 UPS が存在しませんでした」と表示される場合は、デバイスマネージャ上で UPS が認識されていない、もしくは他のアプリケーションに通信ポートが占有されている可能性があります。

UPS型 UPS型 UPS型 UPS基本設定	式 バッテリ設定 UPS起動設定	100T ファイル保存 LCD制御設定・その他 UPS接点信号設定	#や 」 コマンド送受信 出力コンセント制御殿定
ブザー	オン	・ オン C バックアップ時	オフ 〇 常時オフ
電圧感度モード設定	標準	● 標準電圧感度 ○ 低電圧感度	C 高電圧感度
コールドスタート設定	無効	□ ON:コールドスタート有効/OFF:コ	ールドスタート無効
最大バックアップ時間設定	無効	● 無効 ○ 秒単位 1 = (sec) ○ 分単位 1 = (min)	
UPS設定読込 デフ	ォルトに戻す		設定書込



For Ver.4.0.3

Rev 1.02

5-2. UPS の設定を変更する

③UPS の設定を変更する

UPSの各種設定内容を変更してください。現在の設定内容はテキストボックスに表示されます。 全設定を入力後「設定書込」ボタンをクリックすると変更内容が UPS に書込まれます。(各種設定の意味、設定方法等の詳細については「6.各種設定の詳細説明」を参照してください)

🙁 Om	nron UPS 設定ユーティリティ – ロ ×
UPS通信 UPS自動接続 UPS型式	USB ファイル読込 BN100T ファイル(保存
入出力設定 バッテリ設定 バッテリ設定 UPS基本設定 UPS起動設定	2 LCD制御設定・その他 コマンド送受信 定 UPS接点信号設定 出カコンセント制御設定 ①設定を
タブを選択 ガリー か	○ オン ○ バックアップ時オフ ○ 常時オフ
電圧感度モード設定 標準 コールドスタート設定 無効 最大バックアップ時間設定 無効 現在の設定内容	 ○ 標準電圧感度 ○ 低電圧感度 ○ 高電圧感度 □ ON: □-ルドスタート有効/OFF: □-ルドスタート無効 ○ 無効 ○ 秒単位 1 (sec) ○ 分単位 1 (min)
	②クリック
UPS設定読込 デフォルトに戻す	設定書込

④設定書込みの確認をする

設定書込の確認を行ってください。

"※"のついた設定項目は UPS の電源スイッチが OFF 時(UPS 停止状態)のみ変更可能です。 "※"項目の設定変更時は UPS が停止ていることを確認してから、「はい」をクリックしてください。 ("※"のついていない設定項目は UPS の電源スイッチ ON 時(UPS 稼働状態)でも変更可能です。) なお、設定書込は 5~10 秒程度かかります。

"現在の設定内容"の表示が変更後の内容に更新されれば書込成功です。

	設定書込の確認 23
	 全ての設定をUPSに書き込みます。よろしいですか? (注意:※はUPSの電源スイッチOFF時のみ書込可能[例外機種あり])
クリック	(まい(公) いいえ(凶)

注意

選択しているタブに関わらず、変更した全ての設定が書き換わりますのでご注意ください。



For Ver.4.0.3

Rev 1.02

⑤設定値を UPS 内部の不揮発性メモリ(EEPROM)に保存する

UPS の電源スイッチを 0FF した後、UPS の入力電源をオフにし、UPS 操作表示部の表示が完全に消え たことを確認してください。設定内容が UPS 内部の不揮発性メモリ(EEPROM)に保存されます。

注意

設定完了後は、必ず、⑤項の操作で UPS を完全に停止させてください。

■ポイント

- ・UPS の電源スイッチを OFF にし、UPS が停止したのを確認する
- ・UPSの入力電源を切る(入力ブレーカーを OFF 又は入力プラグをコンセントから抜く等)
- ・UPSの状態表示、LCDが消えたことを確認する

本操作を行わないと、設定値は不揮発メモリ(EEPROM)に保存されませんので、ご注意ください。



For Ver.4.0.3

Rev 1.02

5-3. 設定内容のバックアップを行う

⑥設定内容のバックアップを行う

UPSの設定内容をファイルにバックアップすることができます。

バックアップを行う場合は「ファイル保存」をクリックしてください。設定内容がテキストデータで保存されます。(拡張子は"dat")

👷 Omron UPS 設定ユーティリティ – 🗆 🗙
UPS自動接続 UPS型式 BN100T ファイル保存
入出力設定 バッテリ設定 LCD制御設定・その他 UPS基本設定 UPS起動設定 UPS接点信号設定 出力コン
ブザー オン C バックアップ時オフ C 常時オフ
電圧感度モード設定 標準 ④ 標準電圧感度 ○ 低電圧感度 ○ 高電圧感度
コールドスタート設定 無効 ON:コールドスタート有効/OFF:コールドスタート無効
最大バックアップ時間設定 無効 C 秒単位 1 <u></u> (sec.) C 分単位 1 <u></u> (min.)
UPS設定読込 デフォルトに戻す 設定書込

👷 名前を付けて保存				×
🚱 🕘 - 📙 🕨 इनग्रेइ	リ・ドキュメント・ data		🔹 🍕 data0,	検索・
整理・ 新しいフォルタ	Ž—			III • 🔞
★ お気に入り ↓ ダウンロード	ドキュメント ライブラリ _{data}		並べ替え;	フォルダー・
■ デスクトップ	名前	更新日時	種類	サイズ
😒 最近表示した場所	検索条件に	一致する項目はありま	せん。	
🎇 ライブラリ				
迭 ドキュメント				
鸟 ピクチャ				
🧸 ビデオ				
🔳 ミュージック 💡	•	- 111		
ファイル名(N) BN10	OT設定データバックアップ		(③クリック
ファイルの種類(T): 設定こ	ファイル (*.dat)			
フォルダーの非表示	②ファイル	名を入力	保存(S)	キャンセル



For Ver.4.0.3

Rev 1.02

5-4. UPS 設定バックアップファイルより UPS の設定を復元する

⑦バックアップファイルから UPS の設定を復元することができます。 「ファイル読込」をクリックして、バックアップファイルを選択してください。 「設定書込」をクリックするとバックアップの設定内容が UPS に書込まれます。

🙁 Omron	UPS 設定ユーティリティ ①クリ	Jック - ×	
UPS通信			
UPS自動接続 UPS型式 BN1	00T ファイル(保存	終了	
入出力設定 バッテリ設定 UPS基本設定 UPS起動設定	LCD制御設定・その他 UPS接点信号設定 出た	コマンド送受信 カコンセント制御設定	
ブザー オン	● オン ○ バックアップ時オフ	○ 常時オフ	
電圧感度モード設定 標準	● 標準電圧感度 ○ 低電圧感度	○ 高電圧感度	
コールドスタート設定 無効	□ ON:コールドスタート有効/OFF:コール	ドスタート無効	
最大バックアップ時間設定 無効	◎ 無効		
	○ 70単位 1 🔤 (sec.)		
			レ ④クリック
UPS設定読込 デフォルトに戻す		設定書込	
		·	

2 開<				X
(○) - ↓ → ライブラ	リ・ドキュメント・ data			検索・ク
整理・ 新しいフォルタ	<i>j</i> —			• 🛛 0
★ お気に入り ↓ ダウンロード	ドキュメント ライブラリ _{data}		並べ替え:	フォルダー・
🔳 デスクトップ	名前	更新日時	種類	サイズ
🕵 最近表示した場所 =	BN100T設定データバックアップ.dat	2016/02/08 13:44	DAT ファイル	1 KB
⇒イブラリ ⇒ ドキュメント > ピクチャ ビデオ <td>②ファイルを選択</td> <td></td> <td></td> <td></td>	②ファイルを選択			
▲ コンピューター ▼		Ш		③クリック
סידע ער	イル名(N): BN100T設定データパックアップ.d	at	設定ファイル (* 開く(0) ▼	キャンセル



For Ver.4.0.3

Rev 1.02

5-5. UPS の設定をデフォルト(工場出荷時)状態に戻す

⑧UPS の設定をデフォルト(工場出荷時)状態に戻すことができます。「デフォルトに戻す」をクリック してください。

2	Omron	UPS 設定ユーティリティ	- 🗆 🗙
UPS通信 UPS自動接続 UPS自動接続 UPS	ポート UX ビュ代 BN1	SB ファイル読込 100T ファイル(呆存	終了
入出力設定 UPS基本設定	バッテリ設定 UPS起動設定	LCD制御設定・その他 UPS接点信号設定 出ナ	コマンド送受信 ココンセント制御設定
ブザー	オン	 オン 「バックアップ時オフ 	○ 常時オフ
電圧感度モード設定	標準	ⓒ 標準電圧感度 ○ 低電圧感度	○ 高電圧感度
コールドスタート設定	無効	□ ON:コールドスタート有効/OFF:コール	ドスタート無効
最大バックアップ時間設定	無効	 ○ 無効 ○ 秒単位 ○ 分単位 1 1 (min) 	
UPS設定読込 デフ	7ォルトに戻す	④クリック	設定書込

⑨デフォルトに戻す確認

設定をデフォルト状態に戻すのは UPS の電源スイッチを OFF させておく必要があります。 UPS の電源 スイッチ OFF を確認してから「はい」をクリックしてください。 なお書込は 5~10 秒程度かかります。

デフォルトに戻す確認 83
全てのUPS設定をデフォルトに戻します。よろしいですか? (注意:UPSの電源スイッチはOFFにしてください!!)
クリック (はい(Y) いいえ(N)



選択しているタブに関わらず、変更した全ての設定がデフォルト値に書き換わりますのでご注意ください。



For Ver.4.0.3

Rev 1.02

5-6. アプリケーションを終了する

⑩アプリケーションを終了するには、「終了」をクリックしてください。

🙁 Omron	UPS 設定ユーティリティ	- 🗆 🗙	
UPS通信 UPS自動接続 UPS自動接続 UPS型式 BN1	B ファイル読込 00T ファイル(保存	終了	<u></u>
入出力設定 バッテリ設定 UPS基本設定 UPS起動設定	LCD制御設定・その他 UPS接点信号設定 出力コ	コマンド送受信 ンセント制御設定	
ブザー オン	● オン ○ バックアップ時オフ	C 常時オフ	
電圧感度モード設定標準	○ 標準電圧感度 ○ 低電圧感度	○ 高電圧感度	
コールドスタート設定 無効	☐ ON:コールドスタート有効/OFF:コールドフ	ペタート無効	
最大バックアップ時間設定 無効	 ○ 無効 ○ 秒単位 ○ 分単位 1 → (sec) ○ 分単位 1 → (min) 		
UPS設定読込 デフォルトに戻す		定書込	



For Ver.4.0.3

Rev 1.02

6. 各種設定の詳細説明

参考

設定できる項目は、UPSの機種毎に異なります。

次項「7. 設定項目の機種別対応表」をご参照の上、、ご使用の UPS でサポートされている設定項目をご確認ください。

6-1. UPS 基本設定

👷 Omron UPS 設定ユーテ	イリティ			
_UPS通信				
通	信ポート US	SB	ファイル読込	7 46
	S型式 BW	120T	ファイル保存	#≷]
入出力設定 UPS基本設定	バッテリ設定 UPS起動設定	LCD制御 UPS接点信	設定・その他 読録設定	 コマンド送受信 出力コンセント制御殿定
<u>(</u>)ブザー	常時オフ	0 オン	○ バックアップ時	オフ ⓒ 常時オフ
2 電圧感度モード設定	高感度	○ 標準電圧感度	そうして 低電圧感度	ⓒ 高電圧感度
③コールドスタート設定	有効	☑ ON:⊐-ルドス	タート有効/OFF:□	ールドスタート無効
4 最大バックアップ時間設定	無効	◎ 無効		
		○ 秒単位 1	sec.))
		○ 分単位 1	(min.))
UPS設定読込	デフォルトに戻っ	ŧ		設定書込
				h.



For Ver.4.0.3

Rev 1.02

①ブザー

- バックアップ運転時、異常発生時等に UPS のブザーを「鳴らす/鳴らさない」の設定を行います。
- ・オン:ブザー有効。全てのブザーを鳴らします。
- ・バックアップ時オフ:バックアップ運転時、バッテリ劣化時はブザーを鳴らしません。
- ・常時オフ:ブザー無効。全てのブザーを鳴らしません。

	オン	バックアップ時オフ	常時オフ
バックアップ中 バッテリLow 中 バッテリ劣化時		鳴らさない	
オーバーロード発生中 オーバーロード発生中 オーバーロード停止時 内部故障発生時	らす	鳴らす	鳴らさない

注意

オフ設定にする(バックアップ時オフ/常時オフ)と、バッテリ交換時期をお知らせするブザーも鳴らなく なりますので、別途バッテリの管理が必要になります。ご注意ください。

②電圧感度モード設定

UPS が入力電源異常と判定する(バックアップ運転に切り替わる)入力電圧の感度設定を行います。

- 標準電圧感度:標準電圧感度に設定します。
- ・低電圧感度:低電圧感度に設定します。
- ・高電圧感度:高電圧感度に設定します。

使用例)頻繁に停電を検出する為、入力電源異常と判定する電圧を変更したい。

③コールドスタート設定

- コールドスタートモード(入力電源が無い環境でUPSを起動させるモード)を有効にします。
- ・OFF (チェックなし): 無効 (工場出荷値)。電源に繋がないと、UPS は起動しません。
- ・ON(チェックあり):有効。電源に繋がなくても、UPSを起動することができます。

使用例)電源がない環境で、UPS を電池代わりとして使用する。



For Ver.4.0.3

Rev 1.02

④最大バックアップ時間設定

停電時に一定時間放電したら UPS が自動で停止する設定です。

工場出荷值:0(無效)

UPS は入力電源異常時に、本項で設定した時間バックアップ運転を継続した後、出力停止します。 設定した時間前に復電した場合は、出力停止せず、そのまま運転を継続します。 シャットダウンソフトを使わずに、自動で UPS を停止させることができます。



使用例) 接続機器とは別処理で UPS のみ自動停止させたい。



UPS 設定ユーティリティ

取扱説明書

For Ver.4.0.3

Rev 1.02

6-2. UPS 起動設定

👷 Omron UPS 設定ユーティ	ハリティ	
_UPS通信		
UPS自動接続 UPS自動接続 UPS	ポート USB 型式 BW120T	ファイル読込 終了 ファイル保存
入出力設定 UPS基本設定	バッテリ設定 UPS起動設定	LCD制御設定・その他 コマンド送受信 UPS接点信号設定 出力コンセント制御設定
①起動時の自己診断テスト	※ 実行しない	□ ON:実行する/OFF:実行しない
2 4週間毎の自己診断テスト	実行する	▼ ON:実行する/OFF:実行しない
③起動遅延時間設定	5 sec.	5 ÷ (sec)
4 起動バッテリ充電容量設定	0 %	0 (%)
5 DC起動	*	□ ON:有効/OFF:無効
6 自動再起動	有効	✔ ON:有効/OFF:無効
⑦自動再起動モード(BS信号)	モードA	© E-KA O E-KB
UPS設定読込	デフォルトに戻す	設定書込

①起動時の自己診断テスト

UPS 起動時に実行される自己診断テストを停止する設定です。

- ・ON (チェックあり):実行する(工場出荷値)
- ・OFF (チェックなし):実行しない

※この設定は UPS の電源スイッチ OFF 時のみ変更可能です。

②4週間毎の自己診断テスト(バッテリ自動テスト)

- 4週間周期のバッテリ自動テストを停止する設定です。
- ・ON (チェックあり):実行する(工場出荷値)
- ・OFF (チェックなし):実行しない



取扱説明書

For Ver.4.0.3

Rev 1.02

③起動遅延時間設定

復電時に UPS を自動起動させた場合の起動遅延時間を設定します。 UPS は再起動時に設定した時間遅延して出力を開始します。



④起動バッテリ充電容量設定

UPS が起動可能なバッテリ充電容量を設定します。 バッテリが、設定された充電容量以上になるまで **UPS** は起動しません。 **工場出荷値:0(無効)**

例:起動バッテリ充電容量設定を「80%」にした場合



使用例)停電が頻繁にある等、バッテリに一定量の充電をしてから UPS を起動したい。

OMRON

UPS 設定ユーティリティ 取扱説明書

For Ver.4.0.3

Rev 1.02

⑤DC 起動

UPS 起動時のバイパス出力を無効にする設定です。

・OFF (チェックなし): DC 起動無効。バイパス出力で起動します。(工場出荷値)

・ON(チェックあり): DC 起動有効。バッテリで出力で起動します。

※この設定は UPS の電源スイッチ OFF 時のみ変更可能です。

使用例) UPS の入力が発電機等の不安定な電源の為、UPS 起動時のバイパス出力で、負荷に不安定な電源を 送りたくない。常にインバータ経由の安定した電力を供給したい。

⑥自動再起動

入力電源異常でシャットダウンした後、復電時の UPS 動作の設定をします。

- ・ON (チェックあり): 再起動する(工場出荷値)
- ・OFF (チェックなし): 再起動しない

⑦自動再起動モード

BS 信号で UPS をシャットダウンした後の再起動モードを設定します。

- ・モードA:復電で再起動する(工場出荷値)
- ・モードB:復電では再起動せず、入力電源のOFF→ONを検知したら再起動する。



使用例)給電(入力電源がある)状態でUPSを停止し、入力電源のOFF/ONでUPSを起動させる。



UPS 設定ユーティリティ

取扱説明書

For Ver.4.0.3

Rev 1.02

6-3. UPS 接点信号設定

👷 Omron UPS 設定ユーティリラ	F≺	
UPS通信		
UPS自動接続 UPS型式	USB	ファイル読込 終了 ファイル保存
入出力設定 UPS基本設定 L	バッテリ設定 IPS起動設定	LCD制御設定・その他 コマンド送受信 UPS接点信号設定 出力コンセント制御設定
1 BS信号遅延時間設定 ※	0 sec.	0 <u></u> (sec) 9999=無効
2 BU信号遅延時間設定	0 sec.	0 (sec)
③ BS信号許可モード	全モード	□ ON:バッテリモードのみ/OFF:全モード
4 BS信号受付時間	10秒	10秒 🔍
5リモート信号動作		
6 接点信号論理	全部通常論理	反転 「BU 「BL 「TR 」WB
7 可変出力信号線 1	BU	© BU O BL O TR O WB
可変出力信号線 2	TR	CBU CBL OTR CWB
可変出力信号線 3	WB	C BU C BL C TR @ WB
UPS設定読込	デフォルトに戻す	設定書込
		h.

①BS 信号遅延時間設定

BS 信号入力(バックアップ電源停止信号)を受付けてから UPS の電源出力を停止させるまでの遅延時間を設定します。UPS は BS 信号の入力受付け後、設定時間分待ってから UPS の出力を停止します。 ※この設定は UPS の電源スイッチ 0FF 時のみ変更可能です。





For Ver.4.0.3

Rev 1.02

②BU 信号遅延時間設定

停電が発生時、バックアップ運転に移行してから BU 信号を ON にするまでの遅延時間を設定します。 UPS はバックアップ運転に移行後、設定時間分待ってから BU 信号を ON します。



③BS 信号許可モード

BS 信号入力を許可する運転モードを設定します。

・OFF(チェックなし): バックアップ運転、商用運転時とも BS 信号を受け付ける(工場出荷値)

- ・ON (チェックあり): バックアップ運転時のみ BS 信号を受け付ける
- ④BS 信号受付時間

BS 信号の印加時間を設定します。

設定した時間以上継続して BS 信号を ON(High)にすると、UPS が出力停止します。

- ⑤リモート信号動作
 - リモート ON/OFF 信号の論理設定を反転します。

・ショート時オフ:リモート ON/OFF 端子間がショート時、出力をオフ(工場出荷値)

- ・オープン時オフ:リモート ON/OFF 端子間がオープン時、出力をオフ
- ・無効:リモート ON/OFF 無効

⑥接点信号論理

接点信号入出力ポートの出力信号の論理設定を反転させる設定です。

- ・OFF (チェックなし): 通常出力(工場出荷値)
- ・ON (チェックあり): 反転出力

⑦可変出力信号線

接点ポートのピンアサインを変更します。



UPS 設定ユーティリティ

取扱説明書

For Ver.4.0.3

Rev 1.02

6-4. 出力コンセント制御設定

😾 Omron UPS 設定ユーティリティ	
_ UPS通信	
UPS自動接続 UPS型式 BN100T	
入出力設定 バッテリ設定 UPS基本設定 UPS起動設定 U	LCD制御設定・その他 コマンド送受信) JPS接点信号設定 出力コンセント制御設定
- コンセントA 出力開始遅延時間設定 - 設定しない 〇 秒単位 〇 分単位 1 (sec) 〇 分単位 2 min. 〇 設定しない 〇 秒単位 1 (sec) 〇 分単位 2 min. 〇 設定しない 〇 秒単位 1 (sec) 〇 分単位 1 (sec) 〇 砂単位 1 (sec) 〇 分単位 1 (sec) 〇 分単位 1 (sec) 〇 分単位 1 (sec) 〇 分単位 1 (sec) 〇 分単位 1 (sec) 〇 分単位 1 (sec) 〇 分単位	- コンセントA 出力停止遅延時間設定 - 設定しない 〇 秒単位 〇 分単位 1 (sec) 〇 分単位 3 min. 〇 設定しない 〇 秒単位 〇 分単位 3 min. 〇 設定しない 〇 秒単位 1 (sec) 3 min. 〇 設定しない 〇 秒単位 1 (sec) 3 min. 〇 秒単位 1 (sec) 3 min. 〇 沙単位 1 (sec) 1 (min) - コンセントB 出力停止遅延時間設定 〇 分単位 1 (min) - コンセントC 出力停止遅延時間設定 〇 分単位 1 (min) - コンセントC 出力停止遅延時間設定 〇 秒単位 〇 秒単位 1 (sec) 1 (min) - コンセントC 出力停止遅延時間設定 〇 秒単位 〇 秒単位 1 (sec) 〇 分単位 1 (min)
① UPS設定読込 デフォルトに戻す	② 設定書込

①出力開始遅延時間設定

UPS 起動時にコンセントグループ毎の出力開始遅延時間を設定します。UPS は起動時に設定時間分待 ってからコンセントグループの出力を開始します。





For Ver.4.0.3

Rev 1.02

②出力停止遅延時間設定

UPS シャットダウン時のコンセントグループ毎の出力停止遅延時間を設定します。UPS はシャットダウン時に設定時間分待ってからコンセントグループの電源出力を停止します。





UPS 設定ユーティリティ

取扱説明書

For Ver.4.0.3

Rev 1.02

6-5. 入出力設定

Ż Omron UPS 設定그	ーティリティ	
UPS通信 UPS自動接続	通信ボート USB UPS型式 BW120T	 ファイル読込 ファイル保存
UPS基本設定 入出力設定 1 出力電圧設定 2 即使料回期モッド	UPS起動設定 パッテリ設定 ※ 100V	UPS接点信号設定 出力コンセント制御設定 LCD制御設定・その他 コマンド送受信 100V マ
 (2) 局が成まれ「利用サモード (3) ECOモード (4) 入力プラグ 	× 小平 無効 ※	【標準レンジ ■ ON:有効/OFF:無効 15A ■
 ⑤ 切換感度 ⑥ 最大瞬停時間 	0 sec.	 ● 標準(1msで切換) ● 高感度(最速で切換) ● (sec)
⑦ 電源スイッチ機能	UPSシャットダウン	UPSシャットダウン
UPS設定読込	デフォルドに戻す	

①出力電圧設定

UPSの出力電圧を設定します。 **※この設定は UPS の電源スイッチ OFF**時のみ変更可能です。

②周波数同期モード

UPS の周波数同期モードを設定します。

※この設定は UPS の電源スイッチ OFF 時のみ変更可能です。

- ③ECO モード
 - ・ON (チェックあり): ECO モードを有効に設定します。
 - ・OFF (チェックなし): ECO モードを無効に設定します。
- ④入力プラグ

UPS の入力プラグの電流容量を設定します。 ※この設定は UPS の電源スイッチ OFF 時のみ変更可能です。

⑤切替感度

UPS が入力電源異常と判定する瞬停の閾値を変更します。

- ・標準:1ms以下の瞬停は入力電源異常と判定しない。
- ・高感度:1ms以下の瞬停も入力電源異常と判定する(バックアップ運転をする)。



UPS 設定ユーティリティ 耳

For Ver.4.0.3

取扱説明書

Rev 1.02

⑥最大瞬停時間

UPS は設定した瞬停時間を検知すると、直ちに出力を停止します。



使用例) UPS を瞬停保護装置として使用する。

⑦電源スイッチ機能

電源スイッチの動作モードを設定します。

- ・UPS シャットダウン : UPS を出力停止する(工場出荷値)
- ・UPS+PC シャットダウン: UPS とコンピュータをシャットダウンする

参考

「UPS+PC シャットダウン」の必須条件

- 条件 1 : 自動シャットダウンソフト (PowerAct Pro、Simple Shutdown Software、PowerAttendant Lite) を併用する
- 条件2:UPSは「自動再起動しない」設定にする

UPS+PC シャットダウン例/BN100T+コンピュータの場合

<準備>

- BN100T本体操作又は、UPS 設定ユーティリティで以下①、②の設定をする
 ①UPS 起動設定→自動再起動→「無効」
 ②入出力設定→電源スイッチ機能→「UPS+PC シャットダウン」
- 2. コンピュータに自動シャットダウンソフトをインストールし、停電発生時にコンピュータと BN100T がシャットダウンするようにしておく。

<操作>

- ①BN100Tの電源スイッチを3秒長押し(電源オフ操作)します。※1
- ②BN100T はスイッチ操作を受け付けると、停電信号を出します。
- ③自動シャットダウンソフトが停電信号を検出し、設定値に従いコンピュータと BN100T をシャット ダウンします。
- ※1 電源スイッチを6秒以上長押しすると、UPSが出力停止しますのでご注意ください。



Rev 1.02

For Ver.4.0.3

6-6. バッテリ設定

붌 Omron UPS 設定ユーティ	イリティ	
UPS通信 UPS自動接続 UPS	ポート USB 型式 BW120	ファイル読込 OT ファイル保存
UPS基本設定 入出力設定	UPS起動設定 バッテリ設定	UPS接点信号設定 出力コンセント制御設定 LCD制御設定・その他 コマンド送受信
①バッテリ寿命カウンタ	有効	✓ ON:有効/OFF:無効 リセット
② UPS寿命カウンタ	有効	▼ ON:有効/OFF:無効
(3) バッテリロー検出レベル	30%	30 * (%)
4 UPS設置日		1899-12-31
(5) バッテリ交換日		2017-10-04
6 増設バッテリユニット数		0
UPS設定読込	デフォルトに戻す 	設定書込

①バッテリ寿命カウンタ

バッテリ寿命カウンタを無効にする設定です。

- ・ON(チェックあり):有効(工場出荷値)
- ・OFF (チェックなし): 無効

「リセット」ボタンを押すと、バッテリ寿命カウンタがリセットされます。

②UPS 寿命カウンタ

UPS 寿命カウンタを無効にする設定です。

- ・ON (チェックあり): 有効(工場出荷値)
- ・OFF (チェックなし):無効

③バッテリロー検出レベル

バッテリローの検出レベルを設定します。

入力電源異常によるバックアップ運転時、バッテリ電圧が設定値以下になるとバッテリロー表示で通知 します。

④UPS 設置日

UPSの設置日を設定します。 設定値は覚書ですので、UPSの動作には影響しません。



For Ver.4.0.3

Rev 1.02

⑤バッテリ交換日

バッテリ交換日を設定します。 設定値は覚書ですので、UPSの動作には影響しません。

⑥増設バッテリユニット数

UPS に増設したバッテリユニット数を設定します。



For Ver.4.0.3

Rev 1.02

6-7. LCD 制御設定・その他

붖 Omron UPS 設定ユ	ーティリティ		- • •
_UPS通信			
UPS自動接続	通信ポート しい	SBファイル読込	終了
	UPS型式 BW	120T ファイル保存	
UPS基本設定 入出力設定	UPS起動設定 バッテリ設定	UPS接点信号設定 LCD制御設定・その他	出力コンセント制御設定 コマンド送受信
1表示言語		日本語	
 LCD自動オフ 「 	常時ON	常時ON ▼	
③ ਮ਼ [
4 内蔵時計		PCと同期	
⑤ログ件数 「	21件	全消去	
UPS設定読込	デフォルトに戻っ	ġ	設定書込

①表示言語

UPS 本体の LCD パネルの表示言語を設定します。

②LCD 自動オフ

LCD パネルの画面自動オフ機能を設定します。

③メモ

UPS 内部にメモを残すことが出来ます。UPS の動作には影響しません。

④内蔵時計

UPS 内蔵時計の時間を設定します。

⑤ログ件数

内部ログデータを消去します。

6-8. コマンド送受信

UPS に直接コマンドを送信します。 カスタマサポート等で指示があった場合、使用してください。 OMRON

UPS 設定ユーティリティ 耳

For Ver.4.0.3

取扱説明書

Rev 1.02

7. 設定項目の機種別対応表

7-1. 常時インバータ給電方式(200V/正弦波)

			BU-2RWL	BU1002RW	BU-2SW
1	ゴ +ギ	バックアップ時オフ	Ø	Ø	•
I	29-	常時オフ	Ø	Ø	0
2	電圧感度モード設定		-	—	
3	3 コールドスタート設定		-	—	Ø
4	最大バック	クアップ時間設 定	Ø	Ø	0
5	起動時の	自己診断テスト	Ø	Ø	0
6	4週間毎(の自己診断テスト	Ø	Ø	•
7	起動遅延	寺間設定	Ø	Ø	0
8	起動バッ	テリ充電容量設定	Ø	Ø	
9	DC 起動		-	—	
10	自動再起露	助	Ø	O	•
11	自動再起露	動モード(BS 信号)	Ø	O	•
12	BS 信号遅	延時間設定	Ø	O	Ø
13	BU 信号遅	延時間設定	Ø	O	•
14	BS 信号許	可モード	Ø	O	
15	BS 信号受	付時間	_	—	•
16	リモート	言号動作	Ø	Ø	_
17	接点信号	侖理	Ø	O	●※2
18	可変出力	言号線1	_	—	_
19	可変信号線出力2		_	—	_
20	可変信号線出力3		—	—	_
21	コンセント B/C 出力開始遅延時間設定		—	—	O%1
22	コンセント B/C	出力停止遅延時間設定	—	—	_
23	出力電圧	投定	Ø	O	Ø
24	周波数同期	朝モード	Ø	O	_
25	EC0 = -H	\$	0	0	-
26	入力プラク	ゲ	_	—	_
27	切替感度		-	—	-
28	最大瞬停F	寺間	0	0	0
29	電源スイ	ッチ機能	Ø	O	—
30	バッテリ	寿命カウンタ	Ø	O	_
31	UPS 寿命ナ	コウンタ	Ø	Ø	_
32	バッテリ	コー検出レベル	Ø	Ø	_
33	UPS 設置 E]	Ø	Ø	_
34	バッテリ	交換日	Ø	Ø	0
35	増設バッ	テリユニット数	—	—	_
36	表示言語		Ø	Ø	_
37	LCD 自動才	-フ	Ø	Ø	_
38	メモ		Ø	Ø	_
39	内蔵時計		Ø	Ø	0
40	ログ件数		0	0	_

◎:ハード(UPS本体)/ソフト(設定ユーティリティ)共に設定可
 ○:ソフトのみ設定可
 ●:ハードのみ設定可/詳細は UPS の取扱説明書参照
 -:機能非搭載

●:ハートのみ設定可/詳細は UPS の取扱説明書参照 一: 機能非格

※1:設定値の読込、確認不可

※2:BU、BLのみ反転可

For Ver.4.0.3

Rev 1.02

7-2. 常時インバータ給電方式(100V/正弦波)

			BU-SW	BU-RW	BU-RE	BA-T/R BU100RS	BU150R
1	ブ	バックアップ時オフ					
I	29-	常時オフ	0	0	0	0	0
2	電圧感度	モード設定	—	_	—	_	
3	3 コールドスタート設定		Ø	O	—	Ø	1
4	最大バッ	クアップ時間設定	0	0	0	Ø	Ø
5	起動時の	自己診断テスト	—	0	0	0	0
6	4週間毎	の自己診断テスト		•		•	•
7	起動遅延	時間設定	0	0	0	0	0
8	起動バッ	テリ充電容量設定	—	0	0	Ô	Ø
9	DC 起動		0	_	—	—	0
10	自動再起	動		•	•		•
11	自動再起	動モード(BS 信号)		•		•	•
12	BS 信号運	延時間設定	© × 4	Ø	Ø	Ø	Ø
13	BU 信号遅	延時間設定		0	0	Ø	Ø
14	BS 信号許	可モード				0	
15	BS 信号受	·付時間	•	•		0	
16	リモート	信号動作	—	—	0	\bullet	\bullet
17	接点信号	論理	● ※3	●※3	0	Ø	Ø
18	可変出力	信号線 1	—	_	—	—	-
19	可変信号	線出力 2	—	-	—	—	1
20	可変信号	線出力3	—	-	—	—	1
21	コンセント B/C 出力開始遅延時間設定		—	O%1	-	—	0
22	コンセント B/C	出力停止遅延時間設定	—	O%1	—	_	0
23	出力電圧	設定	Ø	O	Ø	Ø	Ø
24	周波数同	期モード	0	-	-	•	0
25	ECO モー	۴	—	_			
26	入力プラ	グ	●※2	●※2	_	-	•
27	切替感度		—	_	—	—	
28	最大瞬停	時間	—	_	0	0	0
29	電源スイ	ッチ機能	—	_	_	0	0
30	バッテリ	寿命カウンタ	—	_	—	0	0
31	UPS 寿命:	カウンタ	—	_	—	0	0
32	バッテリ	ロー検出レベル	—	_	_	0	0
33	UPS 設置日		—	_	—	0	0
34	バッテリ	交換日	0	0	0	0	0
35	増設バッ	テリユニット数		_	_	_	Ø
36	表示言語		—	_	-	-	—
37	LCD自動	オフ		_	_	_	—
38	メモ		—	_	_	0	0
39	内蔵時計		—	0	0	0	0
40	ログ件数		—	_	_	0	0

◎:ハード(UPS本体)/ソフト(設定ユーティリティ)共に設定可

○:ソフトのみ設定可 ●:ハードのみ設定可/詳細は UPS の取扱説明書参照 -:機能非搭載
 ※1:コンセントAも設定可 ※2:対応容量(型式)他詳細は UPS の取扱説明書参照

※3:BU、BLのみ反転可 ※4:ハード側で設定する場合は、ソフト側は無効(初期値 9999)にすること



For Ver.4.0.3

Rev 1.02

7-3. ラインインタラクティブ方式(100V/正弦波)

			BN-S	BN-T	BN150XR	BN-R
1	ブーボー	バックアップ時オフ		Ø	0	Ø
	29-	常時オフ	0	Ø	-	O
2	電圧感度モード設定		Ø	Ø	0	Ø
3	3 コールドスタート設定		Ø	Ô	—	Ô
4	最大バック	クアップ時間設定	0	Ô	—	Ô
5	起動時の	自己診断テスト	0	O	—	Ø
6	4週間毎(の自己診断テスト		O	0	O
7	起動遅延	侍間設定	0	Ô	—	Ô
8	起動バッテリ充電容量設定		0	Ô	—	Ô
9	DC 起動		—	—	—	_
10	自動再起動			Ø	0	Ø
11	自動再起動モード(BS 信号)			Ø	—	O
12	BS 信号遅延時間設定		Ø	Ø	—	O
13	BU 信号遅	延時間設定	0	Ø	-	O
14	BS 信号許可モード			Ø	—	Ø
15	BS 信号受付時間		•	0	-	0
16	リモート信号動作		-	Ø	-	Ø
17	接点信号論理		-	Ø	—	Ø
18	可変出力信号線1		-	-	-	-
19	可変信号線出力 2		-	-	—	_
20	可変信号線出力3		—	-	-	_
21	コンセント B/C 出力開始遅延時間設定		O%1%3	©%3	O%2	Ô
22	コンセント B/C 出力停止遅延時間設定		O%1%3	©%3	_	O
23	出力電圧設定		Ø	Ø	0	Ø
24	周波数同期モード		_	Ø	—	Ô
25	EC0 モード		_	Ø	_	O
26	入力プラグ		●※3	©%3	—	©%3
27	切替感度		_	O	—	Ô
28	最大瞬停時間		-	0	—	0
29	電源スイッチ機能		—	Ø	—	Ø
30	バッテリ寿命カウンタ		-	Ø	—	Ø
31	UPS 寿命カウンタ		-	Ø	—	Ø
32	バッテリロー検出レベル		-	Ø	—	Ø
33	UPS 設置日		-	Ø	—	Ø
34	バッテリ交換日		0	O	0	Ô
35	増設バッテリユニット数		_	-	_	—
36	表示言語		-	Ø	_	Ø
37	LCD 自動オフ		—	Ø	_	Ø
38	メモ			Ø	_	Ø
39	内蔵時計		0	Ø	-	Ø
40	ログ件数			Ø	_	Ø

◎:ハード(UPS本体)/ソフト(設定ユーティリティ)共に設定可

O:ソフトのみ設定可 ●:ハードのみ設定可/詳細は UPS の取扱説明書参照 -:機能非搭載

※1:コンセントAも設定可

※2:設定値の読込、確認不可

※3:対応容量(型式)他詳細は UPS の取扱説明書参照



UPS 設定ユーティリティ

取扱説明書

For Ver.4.0.3

Rev 1.02

7-4. 常時商用給電方式(100V/正弦波)

			BY50FW BY75SW	BY-S	BW-T
1	ு பூ	バックアップ時オフ		•	0
	29-	常時オフ	0	0	Ø
2	電圧感度モード設定		—	Ø	Ø
3	コールドスタート設定		Ø	Ø	Ø
4	最大バッ	クアップ時間設定	0	0	Ø
5	起動時の	自己診断テスト	—	0	Ø
6	4週間毎(の自己診断テスト		•	0
7	起動遅延	時間設定	0	0	0
8	起動バッ	テリ充電容量設定	—	0	Ø
9	DC 起動		—	I	—
10			•	•	Ø
11	自動再起	動モード(BS 信号)	—	-	—
12	BS 信号遅延時間設定		•	-	0
13	BU 信号遅	延時間設定	—	-	0
14	BS 信号許可モード			_	0
15	BS 信号受付時間		•	-	0
16	リモート信号動作		—	-	-
17	接点信号論理		—	-	0
18	可変出力信号線1		—	-	0
19	可変信号	線出力 2	_	_	0
20	可変信号	線出力3	_	_	0
21	コンセント B/C	出力開始遅延時間設定	—	-	—
22	コンセント B/C 出力停止遅延時間設定		—	-	—
23	出力電圧設定		Ø	-	0
24	周波数同期モード		—	-	0
25	ECO モード		—	-	—
26	入力プラグ		—	-	—
27	切替感度		—	-	—
28	最大瞬停時間		—	-	0
29	電源スイッチ機能		—	-	Ø
30	バッテリ寿命カウンタ		—	-	Ø
31	UPS 寿命カウンタ		—	-	0
32	バッテリロー検出レベル		—	-	0
33	UPS 設置日		—	-	—
34	バッテリ交換日		0	0	—
35	増設バッテリユニット数		_	_	—
36	表示言語			_	—
37	LCD 自動オフ		_	_	Ø
38	メモ		—	—	—
39	内蔵時計			_	—
40	ログ件数		—	_	0

◎:ハード(UPS本体)/ソフト(設定ユーティリティ)共に設定可

〇:ソフトのみ設定可

●:ハードのみ設定可/詳細はUPSの取扱説明書参照

- : 機能非搭載



UPS 設定ユーティリティ

取扱説明書

For Ver.4.0.3

Rev 1.02

7-5. 常時商用給電方式(100V/矩形波)

			BX50FW BX75SW	BX35F BX50F	BZ35LT2 BZ50LT2
1	ブザー	バックアップ時オフ			0
		常時オフ	0	0	_
2	電圧感度モード設定		_	-	—
3	コールド	スタート設定	Ø	O	—
4	最大バックアップ時間設定		0	0	—
5	起動時の	自己診断テスト	_	—	-
6	4週間毎(の自己診断テスト		•	0
7	起動遅延時間設定		_	—	-
8	起動バッテリ充電容量設定		_	—	—
9	DC 起動		_	—	—
10	自動再起動			\bullet	0
11	自動再起動モード(BS 信号)		—	_	—
12	BS 信号遅延時間設定			—	-
13	BU 信号遅	延時間設定	—	_	—
14	BS 信号許可モード			_	—
15	BS 信号受	付時間	•	—	—
16	リモート	信号動作	—	_	—
17	接点信号	論理	—	_	—
18	可変出力	信 号 線 1	_	—	—
19	可変信号線出力 2		—	_	—
20	可変信号線出力3		—	_	—
21	コンセント B/C 出力開始遅延時間設定		_	—	—
22	コンセント B/C 出力停止遅延時間設定		—	_	—
23	出力電圧設定		Ø	_	—
24	周波数同期モード		_	—	—
25	EC0 モード		—	_	—
26	入力プラグ		—	—	—
27	切替感度		_	—	-
28	最大瞬停時間		_	—	—
29	電源スイッチ機能		_	—	—
30	バッテリ寿命カウンタ		_	—	-
31	UPS 寿命カウンタ		_	—	—
32	バッテリロー検出レベル		_	—	—
33	UPS 設置日		_	—	-
34	バッテリ交換日		0	0	—
35	増設バッテリユニット数		_	—	—
36	表示言語		_	—	-
37	LCD 自動オフ		_	_	-
38	メモ			—	-
39	内蔵時計		—	_	—
40	 ログ件数		—	_	_

◎:ハード(UPS本体)/ソフト(設定ユーティリティ)共に設定可

〇:ソフトのみ設定可

●:ハードのみ設定可/詳細はUPSの取扱説明書参照

- : 機能非搭載



For Ver.4.0.3

Rev 1.02

8. アンインストール

本ツールをアンインストールされる場合は次の手順で行ってください。

【アンインストール手順】

- ①「起動遅延時間設定ツール」を終了します。
- ②「UPS_utility_ver403」フォルダを削除します。

以上